

事例3

< 事例概要 >

処方時に間違いがあり禁忌薬投与に至った

ミダゾラム注 10 mg（ミダゾラム）：催眠鎮静薬

- ・ 80 歳代、重症筋無力症、胆管炎
- ・ 内視鏡的逆行性胆道膵管造影のためクリティカルパスを使用し、重症筋無力症の患者に禁忌薬であるミダゾラム 10 mg + 生理食塩水 18 mL を処方した。処置薬は処方監査・薬剤鑑査の対象ではなかった。術中ミダゾラム 1.25 mg を 2 回静脈内注射し、検査終了。
- ・ 投与開始 4 時間半後に経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）90 % へ低下。非侵襲的陽圧換気療法を実施したが、当日死亡。
- ・ 死因は、重症筋無力症のクリーゼ。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。